

1～4号炉は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取り組みをお知らせします。

■ 本号の内容

2023年12月1日 発行

- 発電所の業務をご紹介します
- みなさまのご質問におこたえします
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- えびす講市が開催されました
- みなさまの声をお聞かせください
- 発電所データBOX



はやま
麓山神社（富岡町 上手岡）
撮影日：2023年11月9日



みなさまの声をお聞かせください
こちらのメールアドレスにてお待ちしております。
fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。
<https://www.tepcoco.jp/2f-np/index-j.html>

発電所の業務をご紹介します 今回はリスクコミュニケーターです

リスクコミュニケーター（以下、RC）という専門職は、福島第一原子力発電所事故の背後要因として、「安全意識」・「技術力」・「対話力」の不足があった反省から、対話力不足への対策の一環として「リスクコミュニケーション活動の充実」に取り組むため設置されました。

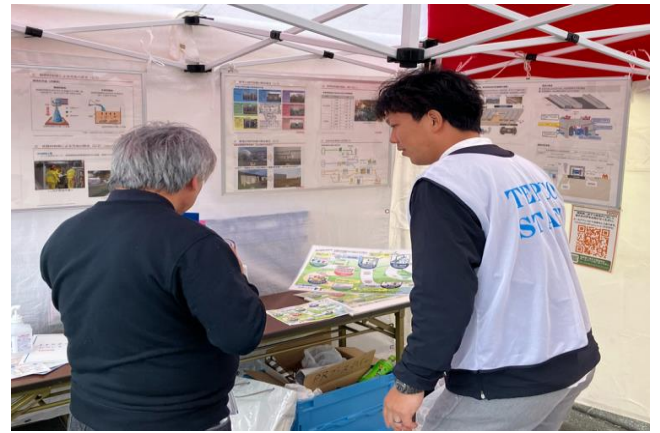
現在、各発電所や福島本部、新潟本部、青森事業本部などに設置されており、福島第二原子力発電所には8名のRCが在籍しています。

RCは、発電所の運営や原子力安全に関するリスクなどを、皆さまにわかりやすくお伝えすることの他、社内に向けてはリスクやトラブル発生時に社会目線での提言を行うなど、リスクコミュニケーションの推進を行っています。

また、発電所のリスク情報を幅広く収集し、経営層への提言も行います。



発電所をご視察いただいた方々へ
震災当時の発電所の状況を説明している様子



11月11日に開催された「富岡えびす講市」
で発電所の廃止措置について説明している様子

「本当にそれでよいか」を常に心がけてコミュニケーションロス防止に努める

－業務について教えてください

私は、発電所の業務に潜むリスクを認識して、そのリスク対応について、所内で働く職員などに向けて、地域や社会の目線に立った考え方をもとに積極的にお知らせすること、また、地域の皆さまに対してわかりやすく丁寧にお伝えすることを意識したリスクコミュニケーションを推進し「対話力」の向上に努めています。

－業務を行う上で心がけていることは

廃止措置移行後も業務を計画通りに進める上で、各部門間でのコミュニケーションはとても重要です。設備トラブルなどが発生した時には、原子力技術者（元発電所運転員）である強みを活かし、現場の状況を正確にわかりやすくお伝えするために、どのような情報が必要なのか意識したうえで会議などで提言しています。

ご視察対応においては、震災時に福島第二原子力発電所4号炉運転員として体験した経験を、よりリアルにお伝えするとともに、廃止措置44年のスタートを切った「今」を丁寧にお伝えしていきます。



福島第二原子力発電所 RC

にしまき たかし

西巻 卓（新潟県柏崎市出身）

みなさまのご質問におこたえします

Q. 福島第二原子力発電所員はどのような地域活動をしていますか？

A. 当発電所では、所員一人ひとりが地域の皆さまのお役に立ちたいという思いから、毎年地元のお祭りなどイベントへの参加や行事のお手伝いをしています。引き続き発電所員がイベントなどに参加し、地域の皆さまと交流を深めてまいります。今回は発電所員が参加した活動の一部をご紹介します。

復興推進活動



さつまいも苗植付 (楡葉町)

お祭り



桜まつりの発電所ブース出展 (富岡町)

所員向けイベント



福島県産品販売会 (発電所構内)

環境美化



花いっぱい活動 (富岡町)

ボランティア



町内清掃活動 (楡葉町)

スポーツイベント



ソフトボール大会 (富岡町・楡葉町)



参加者インタビュー

さつまいも苗植付をお手伝いさせていただきました。思っていた以上に重労働で、農家の皆さまの苦勞が身にしました。おいしいスイーツになるのが楽しみです。

総務部 あべ はるえ
総務グループ 阿部 春詠 (群馬県伊勢崎市出身)



参加者インタビュー

清掃活動に子供と一緒に参加しました。いつまでもきれいであってほしいと思います。

広報部 いがらし あきえ
広報推進グループ 五十嵐 章恵 (神奈川県藤沢市出身)

発電所構内の空間線量

(単位はマイクロシーベルト毎時)

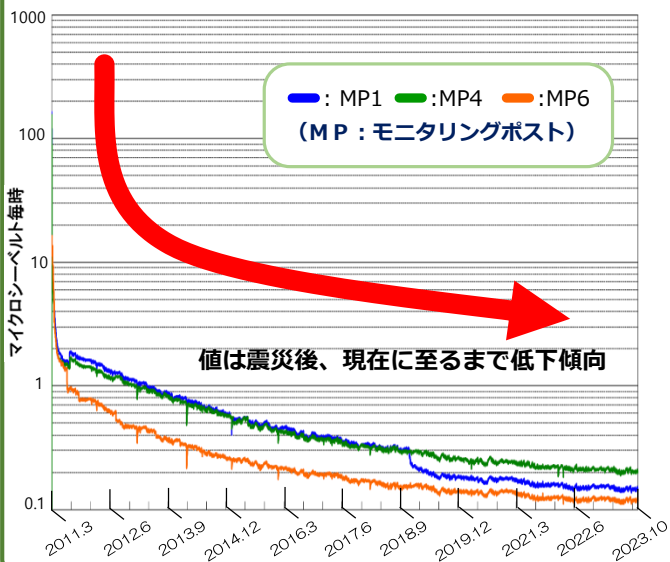
発電所構内のモニタリングポスト計測値 (MP1~7)

2023年11月20日 時点

0.08 [MP7] ~ **0.21** [MP3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向

震災から現在まで (2011年3月16日~2023年10月31日)



参考データ (単位はマイクロシーベルト毎時)

発電所周辺町村の空間線量

富岡町 (文化交流センター) 0.13	楡葉町 (役場) 0.07
広野町 (役場) 0.09	川内村 (役場) 0.08

出典：福島県放射能測定マップ (市区町村別線量率一覧) より (2023年11月20日 時点)

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス (アメリカ) 0.10	ソウル (韓国) 0.12
上海 (中国) 0.59	ロッテルダム (オランダ) 0.33

出典：Safecast (福島県放射能測定マップ) より

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて原子炉から取り出し、1~4号炉の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体	2,482体	2,544体	2,516体
1号炉	2号炉	3号炉	4号炉

えびす講市が開催されました

11月11日、富岡町において「第93回富岡えびす講市」が開催されました。今年は13年ぶりとなる富岡中央商店街路上での開催を祝して、11時11分11秒に来場者全員で乾杯が行われました。乾杯の瞬間は歓声と拍手に包まれ、震災前と同じ場所で再開されたことを笑顔で喜び合う人々の姿が見られました。



13年ぶりとなる商店街路上での再開を祝して乾杯する瞬間



YOSAKOIの様子



地元商店による出店がたくさん、来場者でにぎわう様子



みなさまの声を聞かせください

「福島第二原子力発電所からのお知らせ」をご覧ください、ありがとうございます。

今後の広報紙づくり等のため、ご意見・ご要望など、みなさまの声を是非お聞かせください。



こちらのメールアドレスにてお待ちしております。

fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)

※いただいた内容は、広報紙づくり等の参考にするを目的としており、それ以外の目的での使用はいたしません。

編集後記

10月28日(土)「ならば町秋空散策あるこう会」が秋晴れのもと開催されました。

私は13kmのJヴィレッジコースに家族と参加し、紅葉し始めた檜葉町内を楽しみながら歩きました。木戸川漁協前では「サケの紅葉汁」が振舞われ、歩いた身体に染み入りました。

檜葉の秋を満喫できた楽しいひとときでした。



発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,295人※です。(2023年10月1日現在)
※1日あたりの入構者数は約850人

	東京電力HD	協力企業	合計
県内	343人	1,735人	2,078人(91%)
県外	54人	163人	217人(9%)
合計	397人	1,898人	2,295人(100%)

福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全・安心を第一に廃止措置を進めてまいります。



福島第二原子力発電所のホームページもご覧ください。

<https://www.tepcoco.jp/2f-np/index-j.html>

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
〒979-0695 福島県双葉郡檜葉町大字波倉字小浜作12
Tel 0240-25-1353 (受付時間(平日)午前9時～午後5時)
fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)